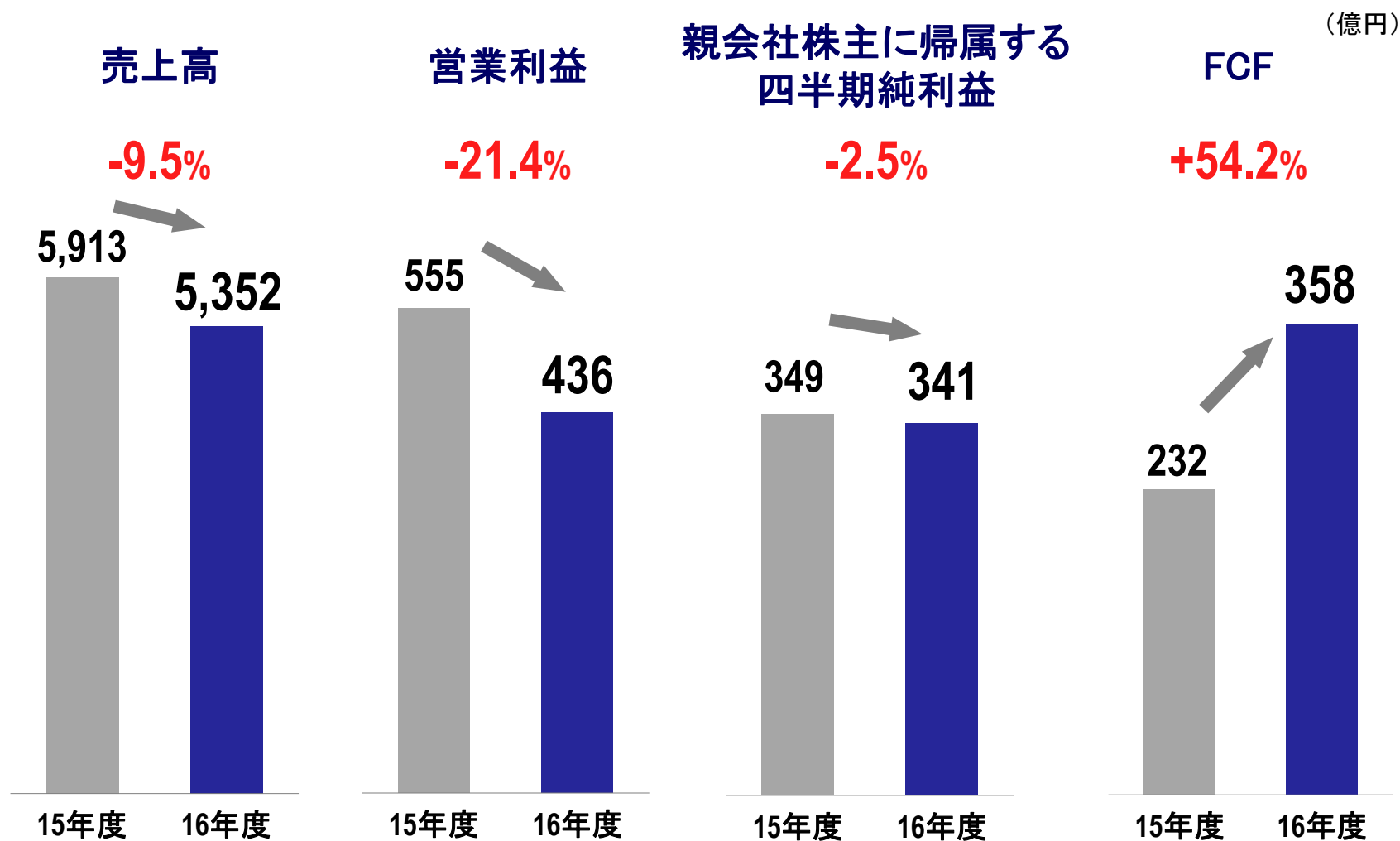

**2017年3月期
第3四半期決算 及び 通期業績見通し
説明資料**

帝人株式会社
2017年2月6日

第3四半期決算概況

(1) 2017年3月期 第3四半期決算概況

年度累計(前年同期比)



◆ 経営成績 (億円)	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異
売上高	5,913	5,352	-561
営業利益	555	436	-119
<営業利益率>	9.4%	8.1%	-1.2%
営業外損益	13	22	+8
経常利益	568	458	-110
特別損益	-106	-44	+62
税金等調整前 四半期純利益	462	414	-48
法人税等	132	67	-66
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-20	7	+26
親会社株主に帰属する 四半期純利益	349	341	-9
1株当たり 四半期純利益 *1(円)	177.65	173.23	-4.42
EBITDA *2	844	716	-127
設備投資 *3	241	286	+45
減価償却費	289	280	-8
研究開発費	239	270	+31
FCF	232	358	+126

■売上高 減収

- 各事業の販売は総じて堅調に推移も円高と樹脂事業等の構造改革に伴う生産体制適正化の影響で減収

■営業利益・経常利益 減益

- 既存事業の成長と構造改革により収益力は着実に改善も為替影響や新薬導入費用により減益

■純利益 微減益

- 減損損失等の減少に加え、税効果会計の変更影響等により税金費用も減少

◇PL換算レート

	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計
円／米ドル	122	107
円／ユーロ	134	118
米ドル／ユーロ	1.10	1.11

*1: 2016年10月1日付の株式併合に伴い、前年度期首に株式併合が行われたと仮定して算定

*2: EBITDA (営業利益+減価償却費)にて算出

*3: 設備投資には無形固定資産を含む

◆ 営業外損益

	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異
(億円)			
受取利息	5	5	-0
受取配当金	15	18	+2
持分法による投資利益	26	24	-2
雑収入	12	10	-1
営業外収益 計	58	56	-1
支払利息	19	16	-2
為替差損	4	3	-2
雑損失	21	16	-6
営業外費用 計	44	35	-10
営業外損益 計	13	22	+8

◆ 特別損益

	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異
(億円)			
固定資産売却益	1	2	+1
投資有価証券売却益	1	0	-1
減損損失戻入益	18	1	-17
その他	1	4	+2
特別利益 計	21	7	-15
固定資産除売却損	15	16	+0
減損損失	56	7	-49
事業構造改善費用	42	20	-22
その他	14	7	-7
特別損失 計	127	50	-77
特別損益 計	-106	-44	+62

◆ 財政状態

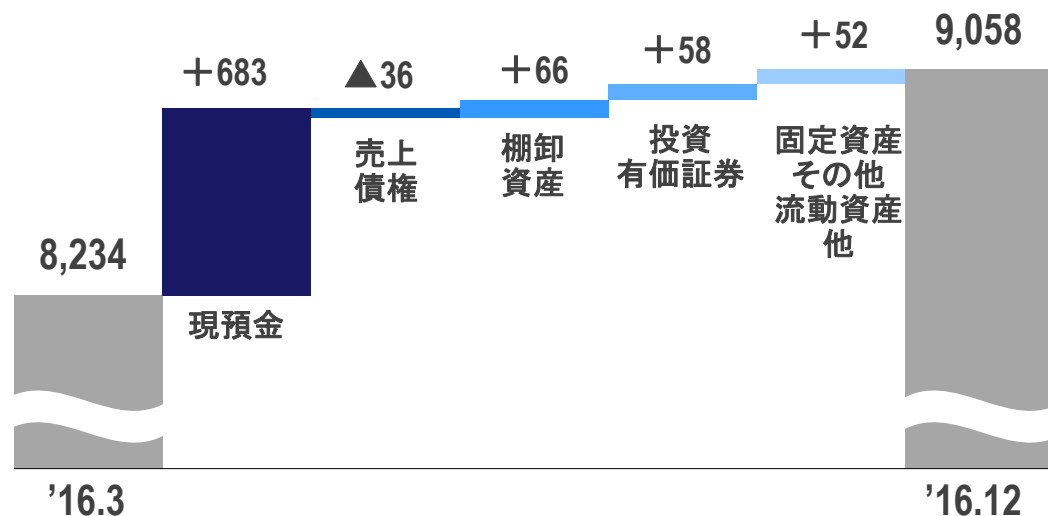
(億円)	16年 3月末	16年 12月末	差異	内 為替 換算影響
総資産	8,234	9,058	+824	-1
自己資本	3,001	3,405	+404	-54
有利子負債	3,033	3,437	+404	+3
D/Eレシオ	1.01	1.01	-0	
自己資本比率	36.4%	37.6%	+1.1%	

◆ キャッシュ・フローの状況

(億円)	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異
営業活動	510	530	+20
投資活動	-278	-171	+106
FCF	232	358	+126
財務活動他	-341	325	+666
現金及び 現金同等物増減	-109	683	+792

* キャッシュ・フローについては金融商品取引法に基づく
四半期レビューの対象外

◇ 総資産増減内訳



◇ BS換算レート

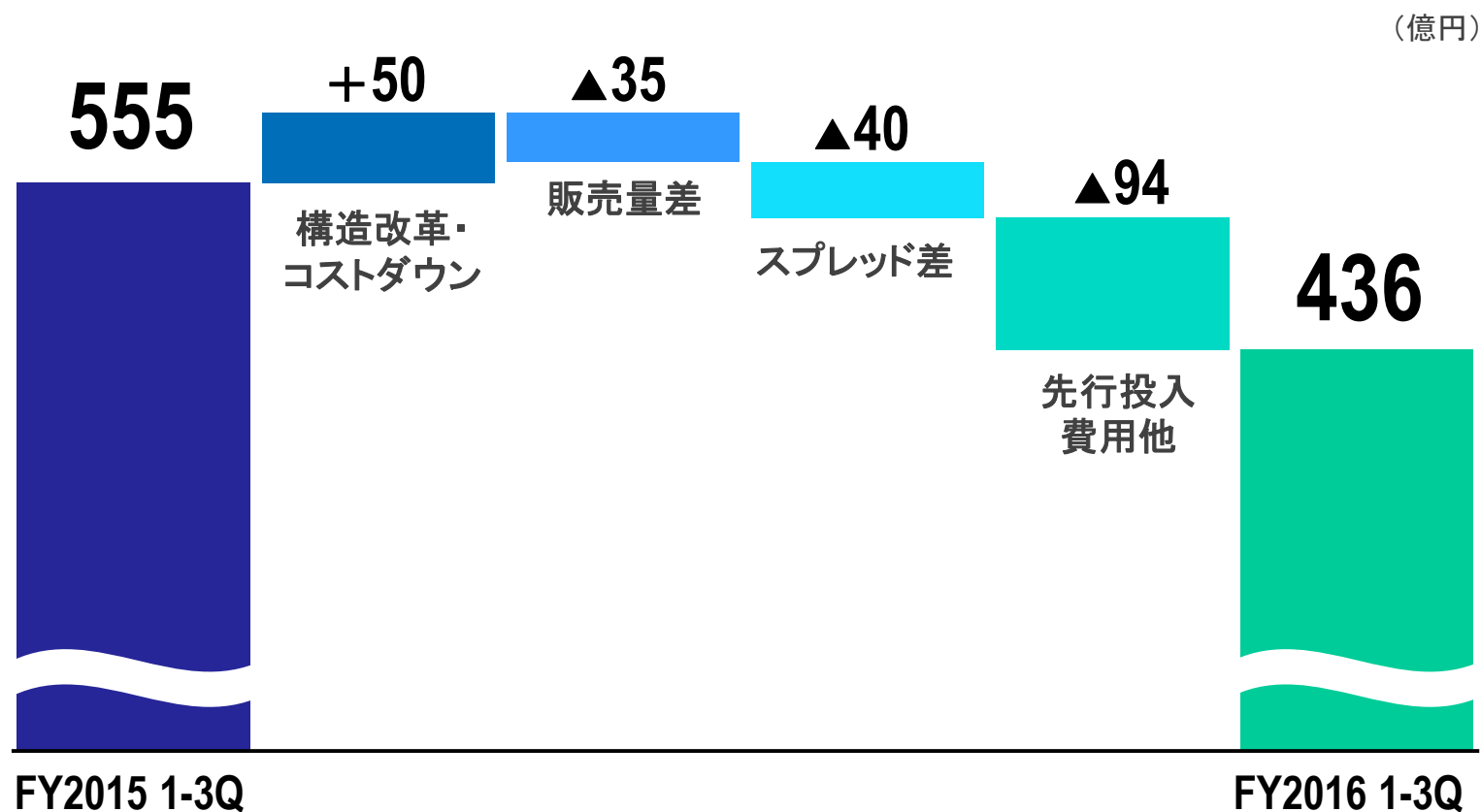
	16年 3月末	16年 12月末
円／米ドル	113	116
円／ユーロ	128	123
米ドル／ユーロ	1.13	1.05

(2) セグメント別 売上高・営業利益比較(対 前年同期)

(億円)	売上高				営業利益			
	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異	増減率	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異	増減率
高機能繊維・複合材料	976	859	-117	-12.0%	139	106	-33	-23.7%
電子材料・化成品	1,294	1,020	-274	-21.2%	189	150	-39	-20.7%
ヘルスケア	1,125	1,119	-6	-0.6%	254	214	-40	-15.8%
製品	2,003	1,909	-93	-4.7%	40	46	+6	+13.7%
計	5,397	4,907	-491	-9.1%	623	516	-107	-17.2%
その他	516	445	-70	-13.7%	33	34	+2	+5.2%
消去又は全社	—	—	—	—	-101	-114	-13	—
合計	5,913	5,352	-561	-9.5%	555	436	-119	-21.4%

◆ 営業利益増減分析

構造改革等によるコストダウン効果はあるが、新薬導入費用の計上や為替影響、樹脂事業の販売量減等により減益

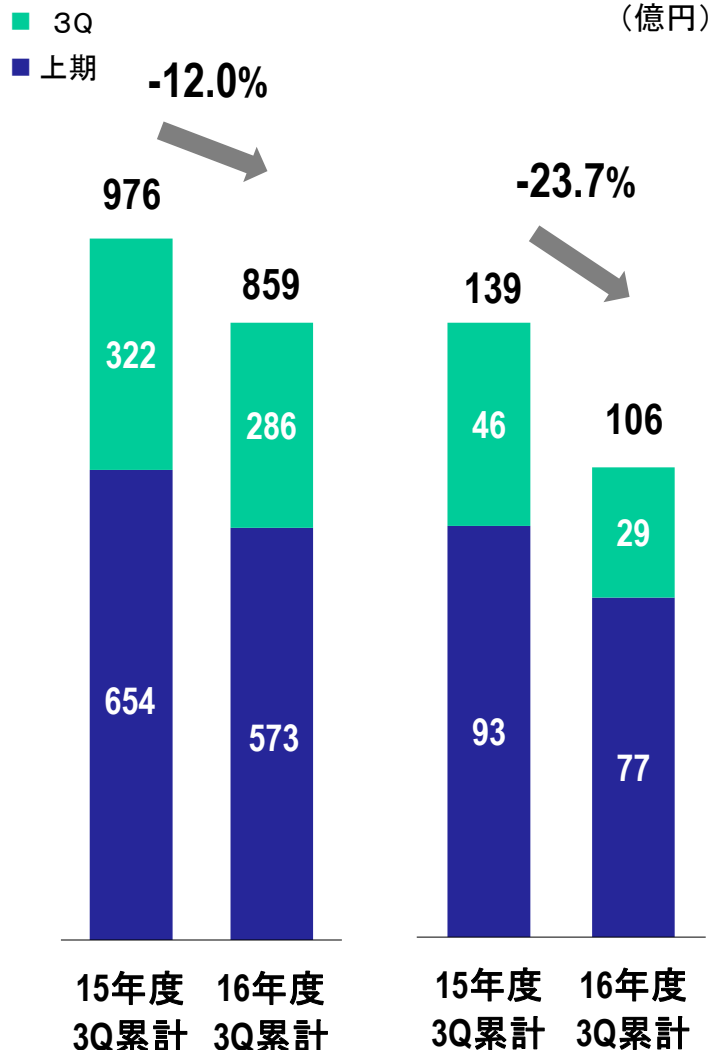


高機能繊維・複合材料事業

販売は堅調ながら、為替影響と
アラミド繊維の定修要因等により減収・減益

売上高

営業利益



(億円)	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	976	859	-117	-12.0%
営業利益	139	106	-33	-23.7%

■ 高機能繊維

パラアラミド繊維:

- ・ 欧州タイヤ向け等の自動車用途が順調に拡大
- ・ 防弾用途や油田採掘関連用途は低調

メタアラミド繊維:

- ・ フィルター用途は激しい競合環境が継続
- ・ 自動車関連、防護衣料、産業資材用途は堅調

ポリエステル繊維:

- ・ 自動車用途や水処理用膜向け等が堅調
- ・ 国内生産体制再編とタイへの生産移管を推進

■ 炭素繊維・複合材料

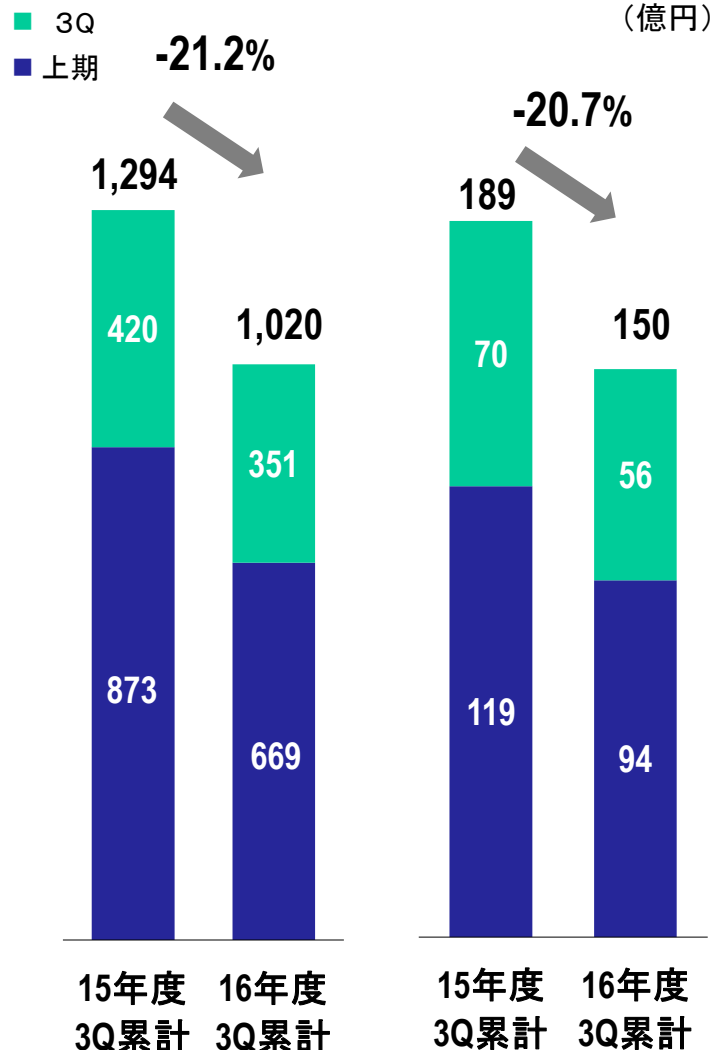
- ・ 航空機用途は順調に推移
- ・ 欧米の風力発電向け販売は堅調も、アジア向けスポーツ・レジャー用途や一般産業用途で需給バランス軟化

電子材料・化成品事業

汎用品ビジネスの縮小や為替影響により減収も
安定した利益率を維持

売上高

営業利益



(億円)	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	1,294	1,020	-274	-21.2%
営業利益	189	150	-39	-20.7%

■ 樹脂

PC樹脂:

- ・ シンガポール工場停止による販売量の減少や、人民元安の影響を受けるも、販売構成の改善や、日本・中国工場の高稼働維持により収益は安定推移
- ・ 自動車部材向け用途展開に加え、高機能繊維との複合材料を積極的に展開

機能樹脂:

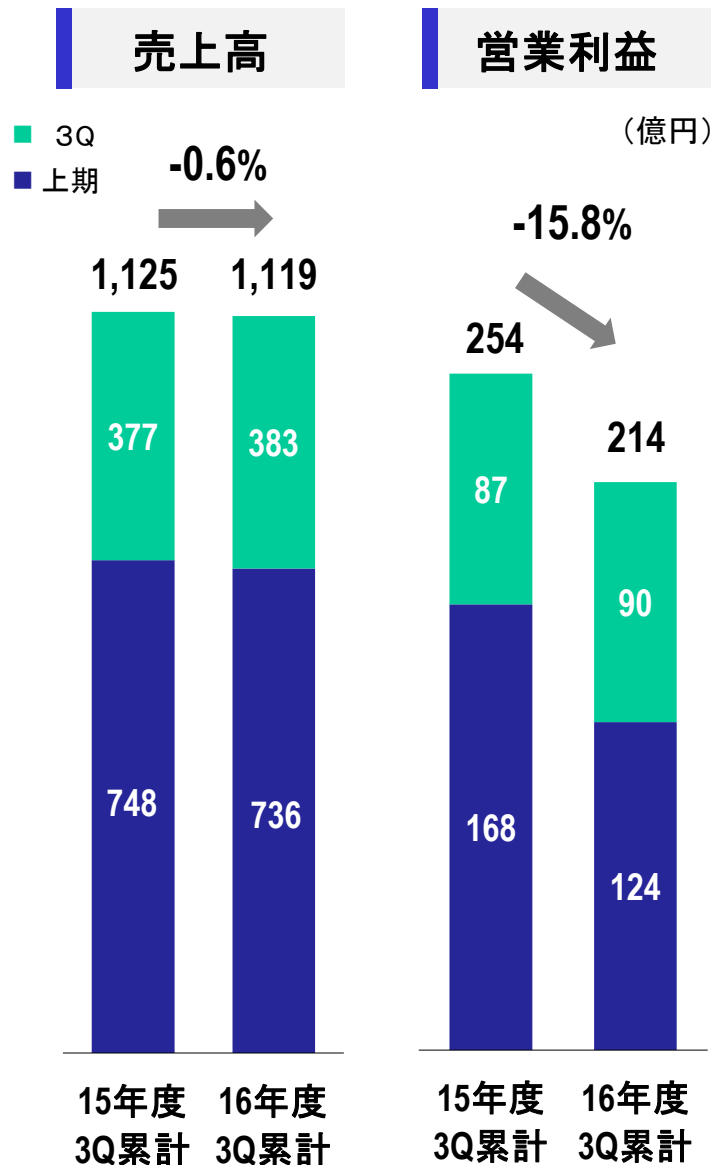
- ・ カメラレンズ用特殊PCの製品ラインナップを拡充

■ フィルム

- ・ 工程用離型フィルムや特殊包装用途の輸出品、磁気用PENフィルムは比較的堅調に推移
- ・ 有機ELディスプレイ(OLED)向けに、逆波長分散フィルムの販売を拡大
- ・ 岐阜工場を計画通り停止(2016年9月末)

ヘルスケア事業

主力製品・サービスの好調で薬価・診療報酬改定影響を吸収も、新薬導入費用の計上により減益



	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	1,125	1,119	-6	-0.6%
営業利益	254	214	-40	-15.8%

■ 医薬品

- ・ 高尿酸血症・痛風治療剤「フェブキソスタット」や、先端巨大症治療剤「ソマチュリン*1」が順調に拡大
- ・ 骨粗鬆症治療剤「ボナロン*2」等の剤形追加品や、経皮吸収型鎮痛消炎剤「ロコア」の販売拡大に注力
- ・ 成長ホルモン剤の新規導入費用を計上（2016年8月）

■ 在宅医療

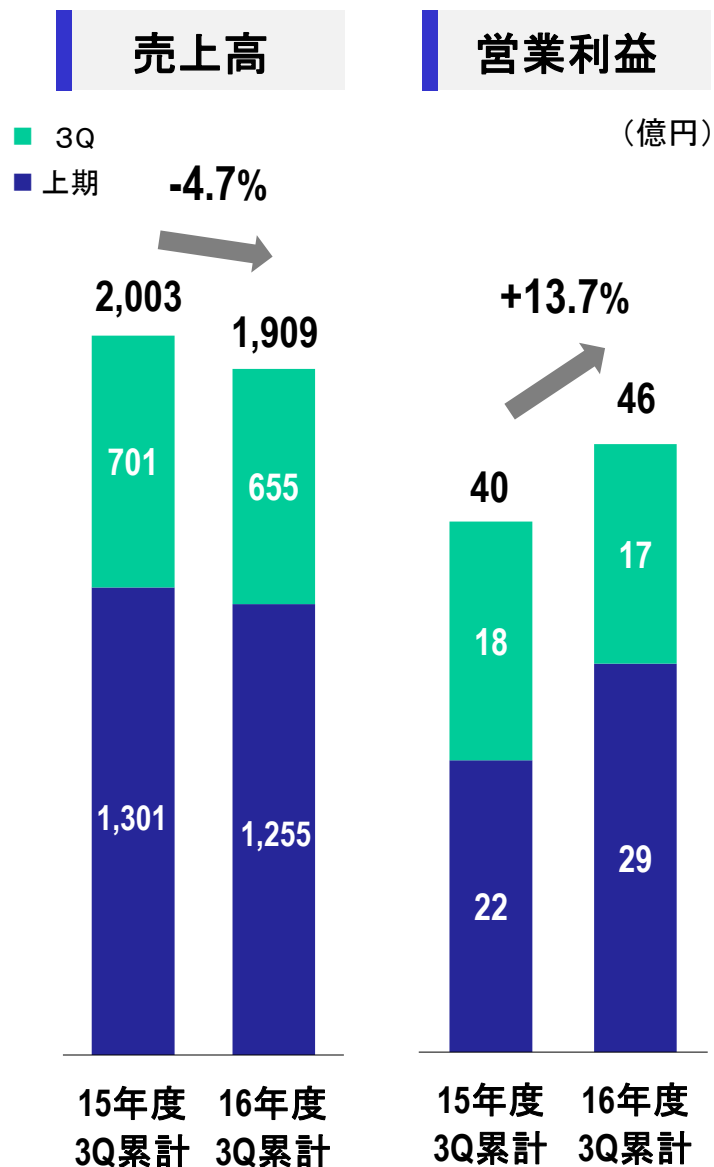
- ・ HOT : 高水準のレンタル台数を維持
- ・ CPAP : レンタル台数は着実に伸長
新機種投入により更なる拡大を目指す
- ・ 厳しい事業環境が継続する米国は費用削減を継続
- ・ リハビリ機器のラインナップ拡充を推進

*1 ソマチュリン®/Somatuline®は、Ipsen Pharmaの登録商標です

*2 ボナロン®/Bonalon® はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です

製品事業

円高により売上微減ながら、生産体制の適正化・差別化品ビジネスの拡大により増益



(億円)	15年度 3Q累計	16年度 3Q累計	差異	増減率
売上高	2,003	1,909	-93	-4.7%
営業利益	40	46	+6	+13.7%

◇ 衣料繊維

- ・ 円高の影響を受けるも、スポーツ・アウトドア向けの高機能素材が、欧米及び国内で伸長
- ・ インテリア用の差別化機能系が大手小売りチェーン向けに販売拡大
- ・ 衣料製品は厳しい市場環境が継続も、適地生産等の体質強化や独自素材による差別化ビジネスを推進

◇ 産業資材

- ・ 自動車部材は 伝動ベルトやタイヤ補強材等を中心に総じて 好調に推移
- ・ 災害復興需要等を受けた土木資材等も好調
- ・ 生活資材は衛生用品等で堅調推移、ヘルスケア関連用途の拡大に注力
- ・ 化成品関連は低迷続くも、半導体向けで好転の兆し

2017年3月期 通期業績見通し

◆ 通期業績見通しの概況

*1 設備投資には無形固定資産を含む

*2 前回見通しは2016年11月7日公表

(億円)	15年度 実績	16年度 見通し	差異		16年度 前回見通し*2	前回見通しと の差異(金額)
			金額	%		
売上高	7,907	7,400	-507	-6.4%	7,300	+100
営業利益	671	560	-111	-16.6%	530	+30
<営業利益率>	8.5%	7.6%	—	-0.9%	7.3%	+0.3%
経常利益	603	550	-53	-8.8%	530	+20
親会社株主に帰属する 当期純利益	311	370	+59	+19.0%	350	+20
設備投資*1	383	500	+117		500	—
減価償却費	389	400	+11		375	+25
研究開発費	333	360	+27		360	—
FCF	403	-600	-1,003		-600	—

通期見通し前提

▼為替 米ドル = 108円 ユーロ = 120円 ▼原油(Dubai) 47米ドル / バレル

	中間配当(確定)	期末配当(見通し)	年間配当
配当*3	5.0円/株	25.0円/株	—

*3

2016年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施。ただし中間配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払い

◆ セグメント別 売上高・営業利益推移(前年実績対比)

		15年度実績			16年度見通し			年間 差異
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
(億円)								
売上高	高機能繊維・複合材料	654	676	1,330	573	777	1,350	+20
	電子材料・化成品	873	764	1,637	669	681	1,350	-287
	ヘルスケア	748	727	1,475	736	714	1,450	-25
	製品	1,301	1,408	2,709	1,255	1,345	2,600	-109
	計	3,577	3,575	7,152	3,233	3,517	6,750	-402
	その他	344	412	756	298	352	650	-106
合計		3,921	3,987	7,907	3,530	3,870	7,400	-507
営業利益	高機能繊維・複合材料	93	92	185	77	68	145	-40
	電子材料・化成品	119	104	223	94	81	175	-48
	ヘルスケア	168	120	288	124	151	275	-13
	製品	22	31	53	29	31	60	+7
	計	401	348	749	324	331	655	-94
	その他	19	46	65	22	33	55	-10
	消去又は全社	-67	-76	-143	-75	-75	-150	-7
合計		353	318	671	270	290	560	-111

◆ セグメント別 売上高・営業利益推移(前回見通し*対比)

* 前回見通しは2016年11月7日公表

(億円)

		16年度 前回見通し*			今回見通し			年間 差異
		上期	下期	年間	上期	下期	年間	
売上高	高機能繊維・複合材料	573	627	1,200	573	777	1,350	+150
	電子材料・化成品	669	631	1,300	669	681	1,350	+50
	ヘルスケア	736	664	1,400	736	714	1,450	+50
	製品	1,255	1,445	2,700	1,255	1,345	2,600	-100
	計	3,233	3,367	6,600	3,233	3,517	6,750	+150
	その他	298	402	700	298	352	650	-50
	合計	3,530	3,770	7,300	3,530	3,870	7,400	+100
営業利益	高機能繊維・複合材料	77	73	150	77	68	145	-5
	電子材料・化成品	94	51	145	94	81	175	+30
	ヘルスケア	124	146	270	124	151	275	+5
	製品	29	31	60	29	31	60	-
	計	324	301	625	324	331	655	+30
	その他	22	43	65	22	33	55	-10
	消去又は全社	-75	-85	-160	-75	-75	-150	+10
合計	270	260	530	270	290	560	+30	

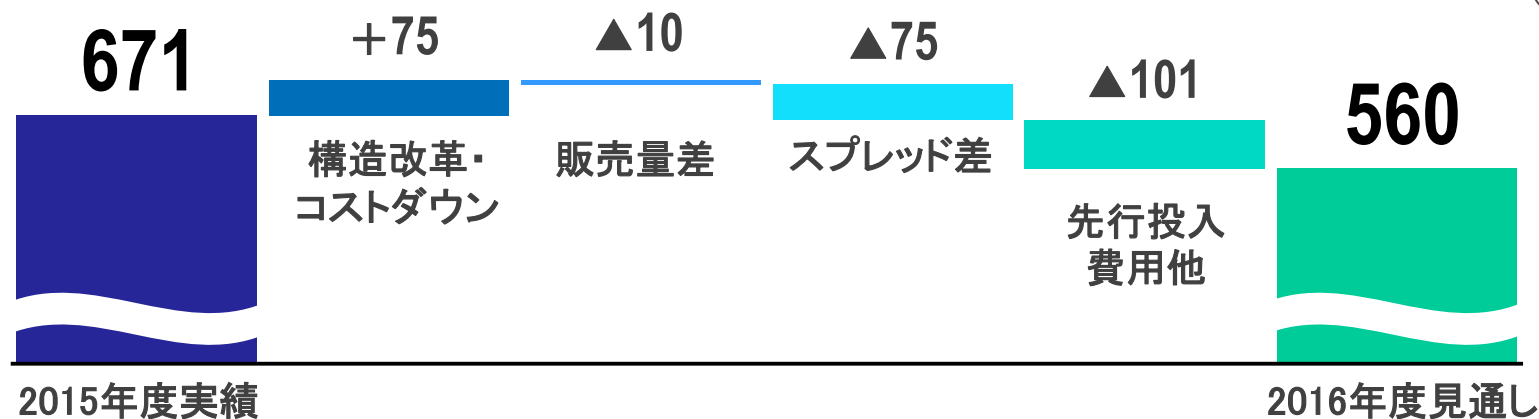
◆ 営業利益増減分析

* 前回見通しは2016年11月7日公表

2015年度実績
対比

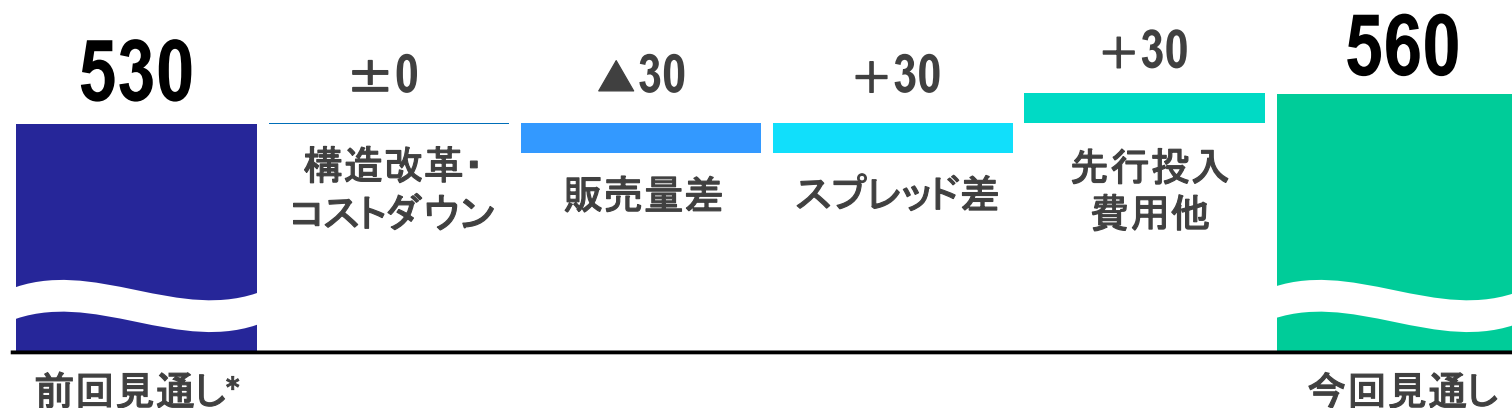
構造改革効果が発現する一方で、素材事業でのスプレッド悪化や薬価改定に加え、先行投入費用の増加により減益

(億円)

前回見通し*
対比

販売やや下振れも、素材事業のスプレッドは想定ほどの悪化に至らず、為替前提差も発現

(億円)



◆ 主要経営指標

	12年度 実績	13年度 実績	14年度 実績	15年度 実績	16年度 見通し
ROA：営業利益／総資産	1.6%	2.4%	4.9%	8.2%	6.4%
ROE：当期利益／自己資本 ^{*1}	-10.3%	3.0%	-2.8%	10.6%	12.0%
売上高営業利益率	1.7%	2.3%	5.0%	8.5%	7.6%
D/ELシオ ^{*2}	1.00	1.00	1.07	1.01	1.2
自己資本比率	35.6%	36.7%	34.9%	36.4%	33.5%
1株当たり当期純利益(円) ^{*3}	-148.1	42.5	-41.1	158.1	188.1
1株当たり配当金(円) ^{*3}	20	20	20	35	50
総資産(億円)	7,624	7,684	8,237	8,234	9,400
有利子負債(億円)	2,708	2,815	3,082	3,033	3,750
EBITDA(億円) ^{*4}	592	637	821	1,060	960

*1 「親会社株主に帰属する当期純利益÷自己資本」にて算出

*2 「有利子負債÷自己資本」にて算出

*3 株式併合による株数の変化を反映したベースで記載

*4 「営業利益+減価償却費」にて算出

見通しに関するご注意

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

事業等のリスク

業績等に影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項があります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

① 競合・市況変動にかかもの

帝人グループは市況製品を展開しており、景気動向、他社との競合に伴う市場価格の変動、購入原燃料の価格変動、また為替、金利といった相場の変動が事業業績に影響を及ぼす可能性があります。

② 製品の品質にかかもの

事業活動全般において品質保証を確保する体制を敷いていますが、製品・サービスの欠陥が業績、財務状況、社会的評価等に悪影響を及ぼす可能性があります。

③ 研究開発にかかもの

研究開発に対し積極的に経営資源を投入していますが、特に医療用医薬品の開発には、多額の費用と長い期間がかかるうえ、創薬研究において、有用な化合物を発見できる可能性は決して高くありません。また、種々の要因により承認申請を断念しなければならない可能性があります。また、承認申請した後でも承認が取り消されることがあります。

④ 海外活動にかかもの

海外での活動について為替変動に係るリスクのほか、予期しない法律・規制の施行、不利な影響を及ぼす租税制度の変更、経済変動、政変・テロ・戦争等による社会的混乱により、経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

⑤ 事故・災害にかかもの

大規模な自然災害や不慮の事故等により生産設備が損害を受けた場合や原材料の供給等サプライチェーンに大きな障害が生じた場合は、帝人グループの経営成績及び財務状況等に悪影響を及ぼす可能性があります。

本資料は、2017年2月6日午前11時00分に公表した弊社決算発表に基づくものです。

本資料に記載された製品名等は登録商標です。

◆ 連結貸借対照表

	(億円)							
	15年 3月末	15年 6月末	15年 9月末	15年 12月末	16年 3月末	16年 6月末	16年 9月末	16年 12月末
資産 合計	8,237	8,164	8,027	8,219	8,234	7,898	7,797	9,058
流動資産	4,060	3,956	3,956	4,150	4,305	4,137	4,036	5,096
固定資産	4,177	4,208	4,071	4,069	3,929	3,761	3,762	3,962
負債・純資産 合計	8,237	8,164	8,027	8,219	8,234	7,898	7,797	9,058
負債	5,201	4,963	4,838	4,918	5,090	4,855	4,632	5,515
(内 有利子負債)	3,082	2,943	2,836	2,811	3,033	2,978	2,762	3,437
純資産	3,036	3,202	3,190	3,301	3,144	3,043	3,165	3,543

* 詳細については決算短信をご覧ください

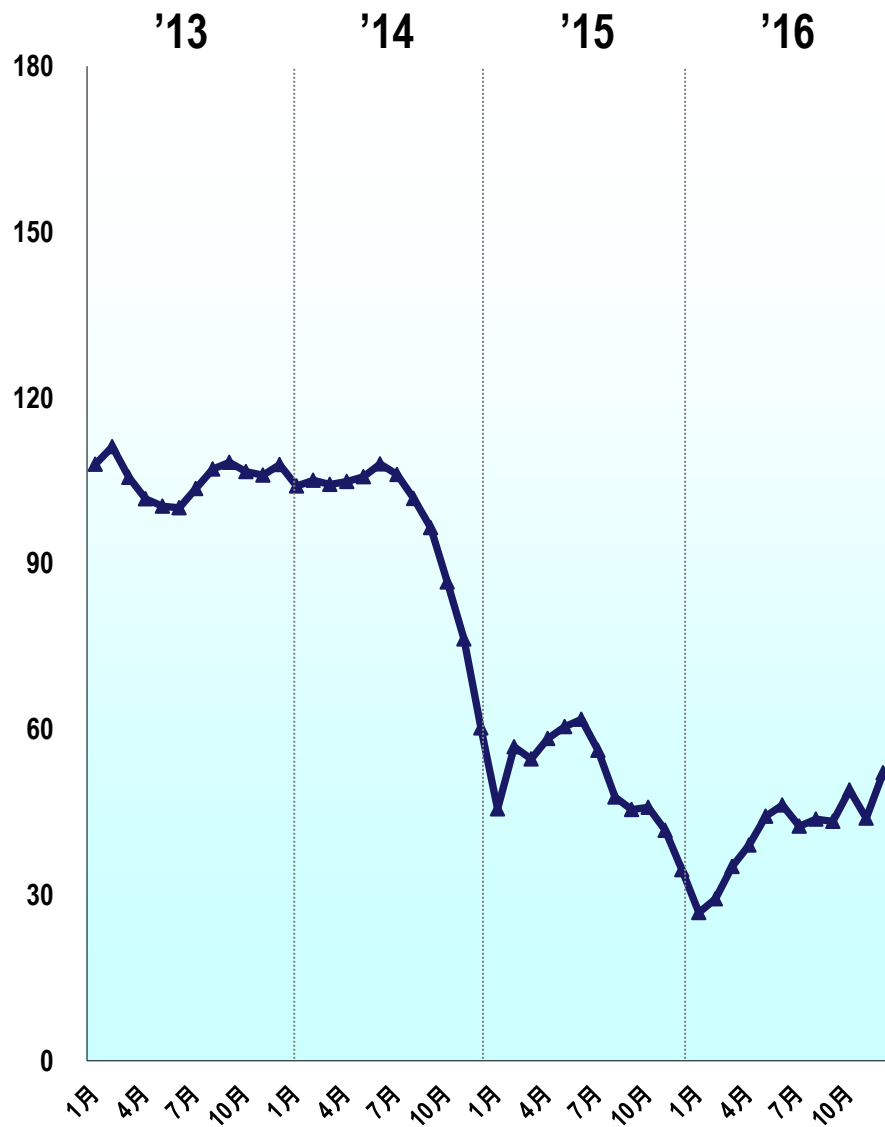
◆ 連結損益計算書

* 詳細については決算短信をご覧ください

(億円)	15年度				16年度		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	1,926	1,995	1,992	1,995	1,742	1,788	1,821
売上原価	1,308	1,345	1,340	1,370	1,131	1,182	1,196
売上総利益	617	650	653	624	612	606	625
販管費	453	461	451	508	455	493	459
営業利益	164	189	201	116	157	113	166
営業外損益	16	-11	8	-81	-13	10	25
(内 金融収支)	5	-5	1	-3	7	-3	2
(内 持分法投資損益)	9	11	5	-55	8	17	-2
経常利益	180	179	210	35	144	123	191
特別損益	-13	-16	-78	-41	-6	-22	-15
税金等調整前 四半期純利益	167	163	132	-6	138	100	176
法人税等	55	35	43	31	22	-2	46
非支配株主に帰属する 四半期純利益	0	-4	-16	1	1	3	3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	112	133	105	-38	114	99	127

◆ ドバイ原油価格推移

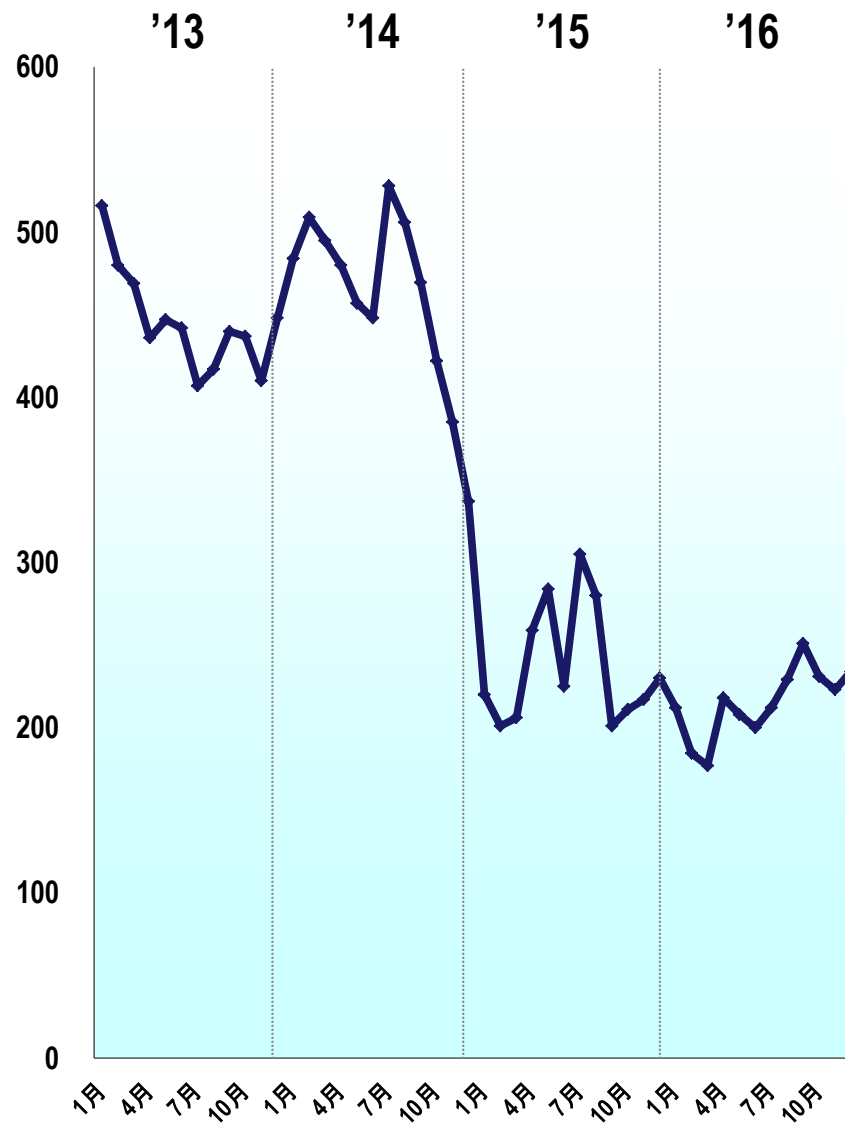
(\$/BL)



【出所:Platt's社のDATAを基に弊社推定】

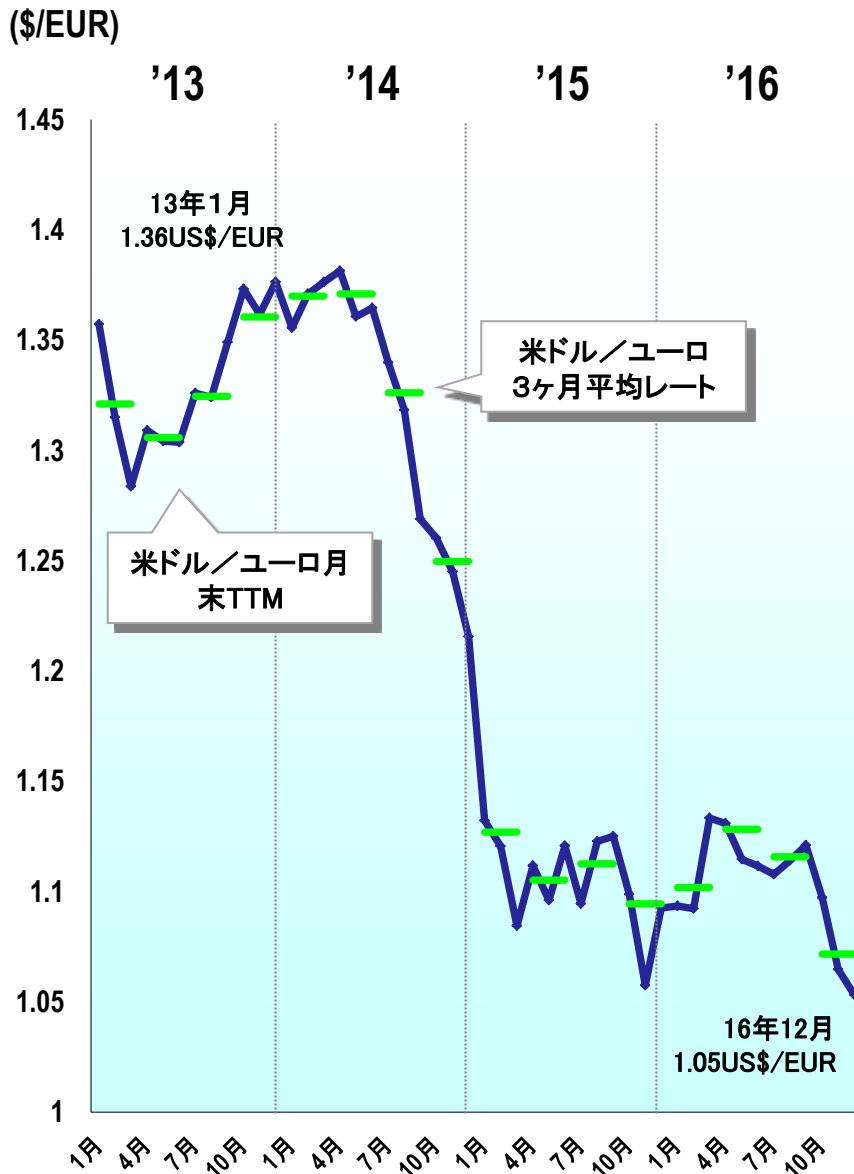
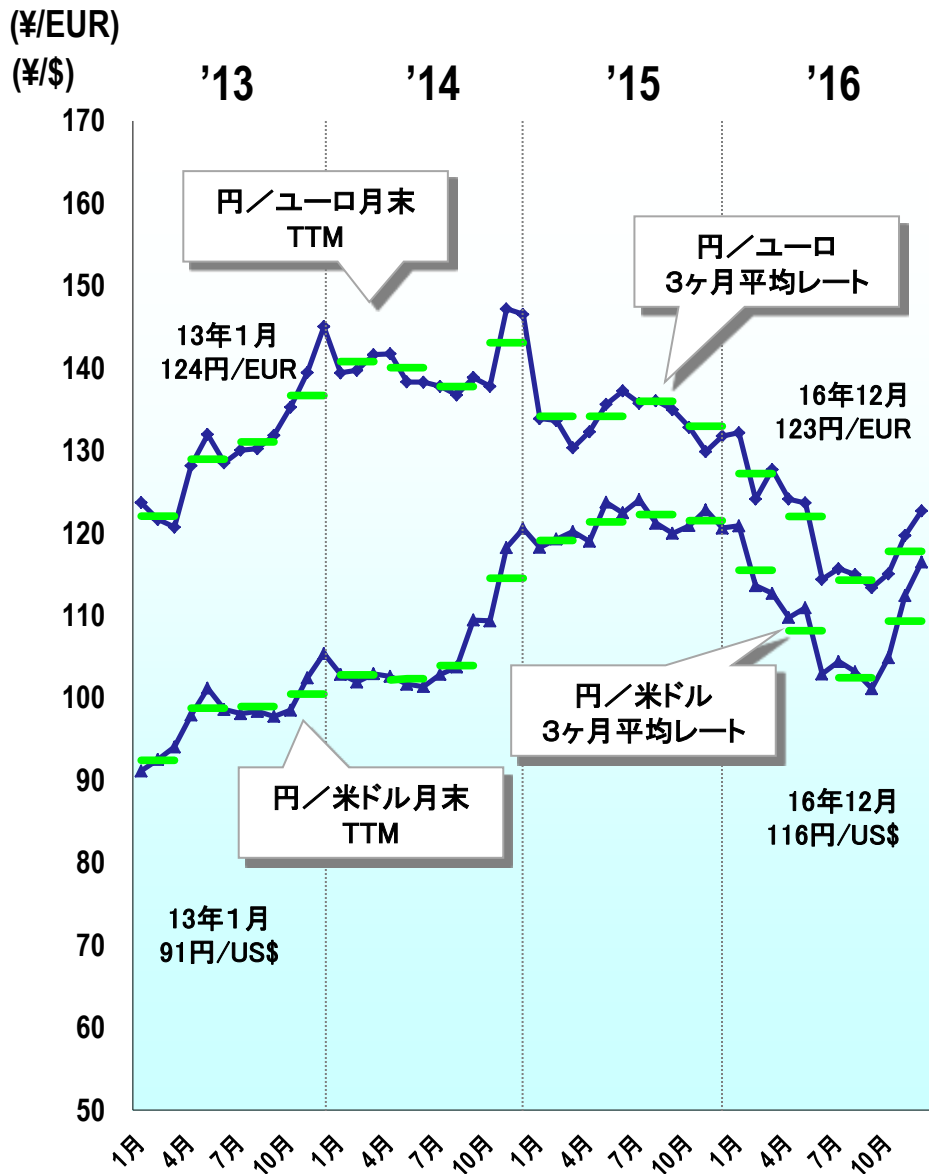
◆ ベンゼン価格推移

(Cent/gal)



【出所:BZ DewittのDATAを基に弊社推定】

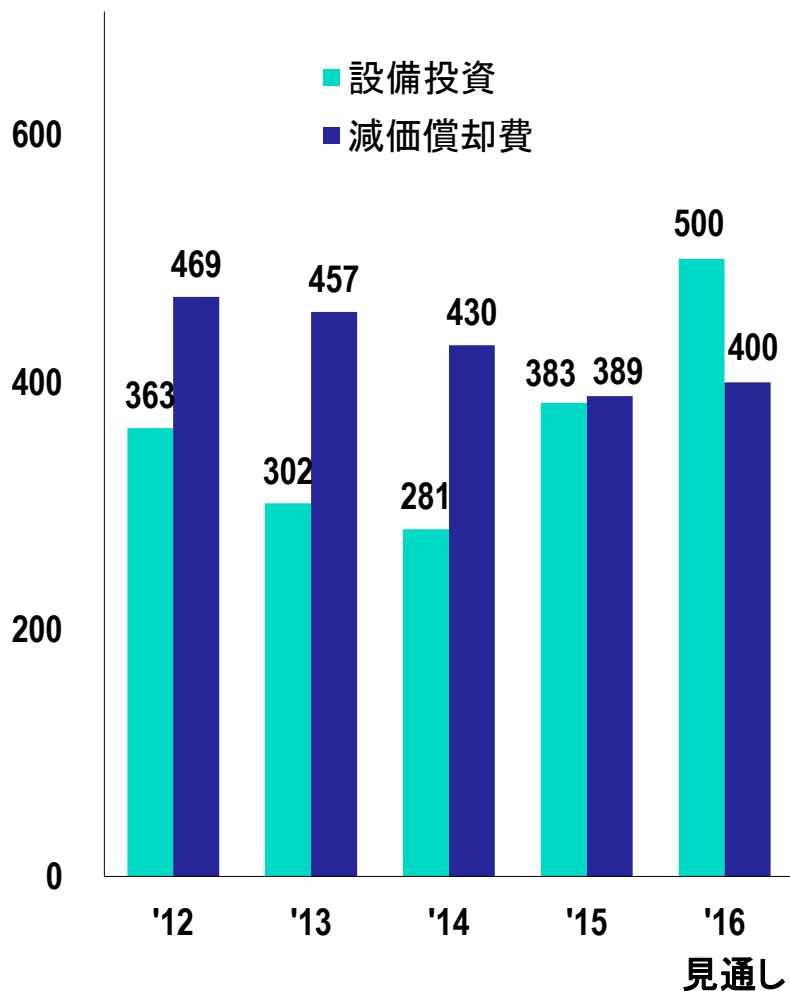
◆ 円／米ドル、円／ユーロ為替レート推移



◆ 設備投資・減価償却費・研究開発費推移

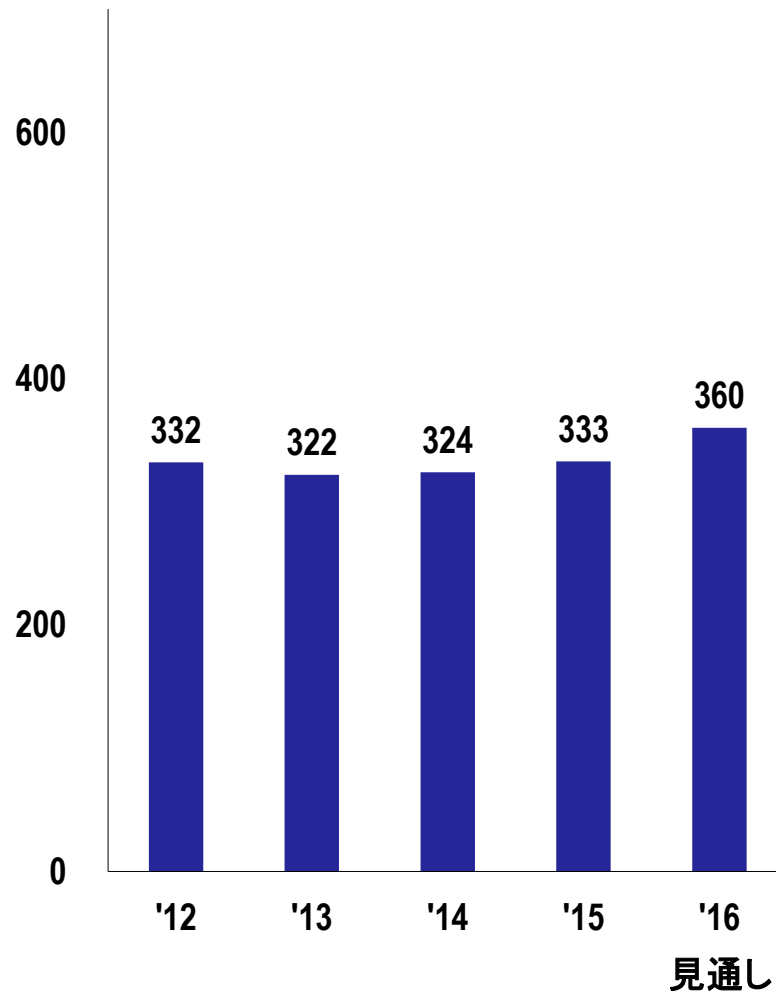
設備投資・減価償却費

(億円)



研究開発費

(億円)



◆ 主要医薬品 売上高実績推移

(億円)

品名	薬効	15年度					16年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q
ボナロン [®] *1	骨粗鬆症治療剤	33	33	35	28	129	31	28	31
ワンアルファ [®]	骨粗鬆症治療剤	13	13	13	10	49	10	9	10
骨粗鬆症治療剤 計		46	46	49	38	178	41	38	41
フェブリク [®]	高尿酸血症・痛風治療剤	48	52	60	53	213	64	64	75
ムコソルバン [®]	去痰剤	18	14	20	15	68	14	13	17
ベニロン [®]	重症感染症治療剤	25	0	13	6	44	10	12	14
ラキソベロン [®]	緩下剤	7	7	7	5	26	5	5	5
ソマチュリン [®] *2	先端巨大症・ 下垂体性巨人症治療剤	3	4	4	4	15	4	4	5
トライコア [®]	高脂血症治療剤	4	4	4	4	16	4	4	4
オルベスコ [®]	喘息治療剤	3	3	3	3	12	3	3	3

*1ボナロン[®]/Bonalon[®] はMerck Sharp & Dohme Corp.の登録商標です。*2ソマチュリン[®]/Somatuline[®] は Ipsen Pharma, Paris, France の登録商標です。

◆ 疾患分野別臨床開発段階 (2016年12月末現在)

	臨床開発段階				* 承認／新規上市は直近1年間を記載
	Phase I	Phase II	Phase III	申請	承認／ 新規上市
骨・関節 領域		ITM-058 KTP-001			
呼吸器 領域		PTR-36			
代謝・ 循環器 領域	TMG-123 TMX-049 TMX-049DN*3		STM-279 VRS-317*4	TMX-67 [フェブキシソスタット] (中国) ITM-014N [ソマチュリン®*5] (適応追加: 神経内 分泌腫瘍)*2	TMX-67TLS [フェブリク] (適応追加: 腫瘍 崩壊症候群)*1
その他			GGs-ON, -MPA, -CIDP [ベニロン] (適応追加①: 視神経炎<ON>) (適応追加②: 顕微鏡的多発血管炎 <MPA>) (適応追加③: 慢性炎症性脱髄性多 発根神経炎<CIDP>)		

*1 「フェブリク」の腫瘍崩壊症候群への適応拡大として開発中のTMX-67TLSは、2016年5月「がん化学療法に伴う高尿酸血症」に対する適応追加の承認を取得。*2 「ソマチュリン」の神経内分泌腫瘍への適応拡大として開発中のITM-014Nは、2016年7月独立行政法人・医薬品医療機器総合機構に承認申請を実施。*3 2016年7月 2型糖尿病における新規糖尿病性腎症治療薬としてTMX-049DNの臨床開発(英国、Ph 1)に着手。*4 2016年8月米ヴェルサーティス社が創製した新規長期作用型成長ホルモン剤VRS-317の日本における独占的開発・販売契約を締結。*5 ソマチュリン®/Somatuline® は Ipsen Pharma, Paris, France の登録商標です。

◆ 新規開発医薬品 (2016年12月末現在)

【承認取得】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMX-67TLS (フェブキソスタット)	腫瘍崩壊症候群	本剤の強力な尿酸生成抑制作用により、1日1回の投与で、悪性腫瘍に対する化学療法に伴う高尿酸血症の発症を抑制することが期待される。	錠剤	自社開発品 (適応追加) 2016年5月「がん化学療法に伴う高尿酸血症」に対する承認を取得

【承認申請】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMX-67 (フェブキソスタット)	高尿酸血症・ 痛風	国内販売しているフェブリク錠を中国に導出する。本剤は、強力な尿酸生成抑制効果に加え、腎機能低下等により既存治療薬を使うことのできなかった患者へも使用が可能であり、中国における高尿酸血症・痛風治療の新たな選択肢として、高尿酸血症・痛風患者のQOL(Quality of Life)向上に貢献できることが期待される。	錠剤	共同開発:アステラス製薬 (中国)有限公 司 2015年11月承認申請
ITM-014N (ランレオチド酢酸塩)	神経内分泌腫瘍	ソマトスタチン受容体を介したアポトーシスの誘導(直接的作用)や細胞栄養因子の分泌制御(間接的作用)を介した作用により、神経内分泌腫瘍の進展抑制や諸症状の改善が期待される。	注射	導入:仏イプセン社 (適応追加) 2016年7月承認申請

◆ 新規開発医薬品 (2016年12月末現在)

【Phase III】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
GGS-ON (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	視神経炎	本剤の免疫調節作用により、視神経の炎症を抑制し、視機能を改善することが期待される。	注射	共同開発: 化血研 (適応追加)
GGS-MPA (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	顕微鏡的多発血管炎	本剤の抗炎症作用と免疫調節作用により、自己免疫性血管炎を鎮静化させ、標準治療で残存する神経障害(多発性単神経炎)を改善することが期待される。	注射	共同開発: 化血研 (適応追加)
GGS-CIDP (乾燥スルホ化人免疫グロブリン)	慢性炎症性脱髄性多発根神経炎	本剤の免疫調節作用により、末梢神経の炎症を抑制し、低下した筋力を改善することが期待される。	注射	共同開発: 化血研 (適応追加)
STM-279	ADA(アデニン・デアミナーゼ)欠損症	本剤(ポリエチレングリコール修飾遺伝子組換えウシADA類縁体)は、ADA欠損症患者にADAを補充することで、リンパ球の減少を抑える注射剤であり、重症複合免疫不全症(SCID)の発症を回避することが期待される。	注射	導入: 英シグマタウ社
VRS-317	小児・成長ホルモン分泌不全性低身長症	ポリペプチドを融合し、長期作用性を有する組換えヒト成長ホルモン。ヴェルサーティス社による米国第2相試験において、毎日注射する必要がある既存製剤と同様の効果を月2回の注射で得られることが示されている。	注射	導入: 米ヴェルサーティス社 Ph-2/3試験の第3相期を実施中

◆ 新規開発医薬品 (2016年12月末現在)

【Phase II】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
ITM-058	骨粗鬆症	強力な骨形成作用により短期間で骨密度増加と骨折抑制効果が期待できる骨粗鬆症治療薬。既存薬に比べ、強い骨密度増加作用と安全性(高カルシウム血症のリスク低減)が期待できる。	注射	導入: 仏イプセン社
KTP-001	腰椎椎間板ヘルニア	腰椎椎間板ヘルニアに対する化学的髄核融解療法剤。 生体内でヘルニアの自然退縮に関わる酵素(マトリックスメタロプロテアーゼ)と同じ構造のヒト型タンパク質であることからアレルギー反応のリスクが少なく、選択的に作用するため、椎間板周囲組織の傷害性が低いと期待される。手術に代わる低侵襲性の治療法の選択肢を広げることができる。	注射	発明者: 波呂浩孝氏、 小森博達氏 共同開発: 化血研
PTR-36	気管支喘息	新規作用機序(CRTh2拮抗作用)によって喘息症状をコントロールする長期管理薬。 単剤による吸入ステロイドと同等の治療効果(軽症患者)や吸入ステロイドとの併用による十分な治療効果(軽症~重症の患者)が期待される。	錠剤	導入: 英プルマジェン・セラ ピューティクス(ア ズマ)リミテッド社

◆ 新規開発医薬品 (2016年12月末現在)

【Phase I】

開発コード(一般名)	対象疾患	薬効・特徴	剤型	備考
TMG-123	2型糖尿病	新規作用機序(肝優位型GK活性化作用)による血糖コントロール薬。 血糖コントロールが不十分な患者で有効性が期待されるほか、高い利便性(1日1回投与、腎機能低下患者で用量調節の必要性低い、薬物相互作用の懸念が少ない等)が期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-049	高尿酸血症・痛風	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規高尿酸血症治療薬として、有効性と安全性に優れることが期待される。	錠剤	自社開発品
TMX-049DN	2型糖尿病における糖尿病性腎症	非プリン型キサンチンオキシダーゼ阻害薬。新規糖尿病性腎症治療薬として、腎症の進展抑制が期待される。	錠剤	自社開発品

◆ 導入品目の状況 (直近3年間を記載)

導入契約	導入元	内容
2015年3月	大正製薬(株)	変形性関節症の鎮痛・消炎を適応症とした、エスフルルビプロフェン含有消炎鎮痛貼付剤TT-063の国内における販売権許諾契約を締結 (2015年9月：大正製薬(株)が製造販売承認を取得) (2016年1月：「ロコア」として大正富山医薬品(株)と共同販売を開始)

TEIJIN

Human Chemistry, Human Solutions

Human Chemistry, Human Solutions

テイジンブランドの約束を“Human Chemistry, Human Solutions”と表現します。

この約束は、「人と地球環境に配慮した化学技術の向上と、社会と顧客が期待している解決策を提供することで本当の価値を実現することに挑戦し続けること」を意味しています。

私たちはこの約束を確実に成し遂げ、企業理念であるQuality of Lifeの向上に努め、社会と顧客から信頼される企業グループであり続けます。